



きみむらさきちゃん

吉美小だより

綾部市立吉美小学校
令和7年9月19日号

人を大切にするみんなの学校

<学校教育目標>
<教育スローガン>

自立と貢献 ～夢をもち 仲間とともに 未来を切り拓く 子どもの育成～
「笑顔・元気・夢いっぱい そして **チャレンジ**」

運動会に向けて始動 6年生を中心に準備を進めます

今年の運動会は10月19日と例年より1か月遅くなっているため、運動会練習は暑さを避けて9月29日にスタートする予定です。開始の日には、色集会（結団式）を行い、目標を確認し、その目標に向かって一丸となって取り組めるようにチームの結束力を高めます。現在、6年生を中心に各色高学年で、色スローガンを相談し、色集会の運営の準備を進めています。「こんなチームにしたいな」「こんな言葉を入れたいな」など、様々な意見を出した後、6年生はみんなの意見をまとめ、一人一人の知恵を結集した色目標を決めていきました。

また、同時に6年生は全体目標も話し合っ決めて決めました。6年生にとっては、小学校最後の運動会。成功させようと強い思いを込めて目標を考えました。

今後は、エール交換の練習、担当活動の準備、各競技の練習などに取り組んでいきます。

この大きな行事を通して、時には困難にぶつかりながらも乗り越え、学校のリーダーとして、協力・助け合い・思いやり・計画性・粘り強さ・責任感等、様々な力を発揮し、さらに伸ばしてステップアップしてくれることを期待しています。教職員一同全力で指導・支援していきます。どうぞ保護者・地域の皆様も子どもたちの頑張りを認め、励まし、支えていただきますようお願いします。

校長 伊豆 紀代美 教職員一同

運動会全体目標…『最後まで全力を出し、みんなで楽しみ思い出に残る運動会にしよう』

赤

不撓不屈、
何度失敗しても、
挫けず優勝を掴み取れ

青

一念通天
困難を恐れず
勝利へ突き進め

黄

全員主役
希望の光で
優勝をつかみとれ！

認知能力(見える力)と非認知能力(見えない力)を



学校は、毎日のあらゆる活動を通して、様々な力を身に付けていく場所です。現行の学習指導要領では、育成したい資質・能力を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの柱から整理しています。

主にこの「**学びに向かう力・人間性等**」が**非認知能力**に当たるものです。非認知能力は数値で測れる学力＝見える力ではなく、**数値で測れない見えない力**と言えます。例えば、**忍耐力や自制心、協調性、コミュニケーション力**などがそれにあたり「生きる土台となる力」「あと伸びする力」「生涯の学びを支える力」などと言われています。非認知能力の「何かをやり抜くねばり強さ」「自分の感情をコントロールする力」「計画をたてて実行する力」などが育まれると、変化の激しいこれからの時代においても、変化に対応し、生き抜く力が強くなると思われます。

逆に認知能力が高くても、自ら学ぼうという姿勢がなかったり、コミュニケーションが上手くとれなかったりすると、上手くいかないことが多くなります。

本校では、授業を始め様々な教育活動の中で、この非認知能力を認知能力とともに育もうと取り組んでいます。綾部市の学びに向かう力育成研究事業の研究指定校として、非認知能力の研究者である中山芳一先生の助言を受けて、**認知能力と非認知能力を一体的に育む授業づくり**を研究しています。実態に合った「仕掛け」を通して、子どもたちの心を揺さぶり、主体的に学んだり、人との関わり合いの中で学んだりして、非認知能力を育てようと考えています。

家庭では、本人が伸ばしたい、必要だと意識するようになるための『意識づけをする』といったきっかけを与えることが大事になってきます。中山先生は、「自分の考えや行動のベースになるのが価値観で、親が『大切にしていきたい価値観』を伝え、子どもにその価値観と行動がズレていれば改善点を教え、よい行動は習慣にできるように褒めてあげたいものです』とおっしゃっています。



中山先生を迎えての校内研究会